

令和元年度 第6回全体庁議（8月6日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(17) 「緑の基本計画」の策定について[都市建設部]
----	-------	--------------	-----------------------------

<b>■ 提案・報告の趣旨</b>
<p>平成15年に策定した「緑の基本計画」の計画期間は平成16年度から令和5年度までとなっているが、帯広市総合計画に即し、都市計画マスタープランとの適合を図るため、令和元年度に現計画を改定する形で次期計画を策定するもの。</p> <p>みどりのまちづくりの課題や社会情勢の変化、都市公園等に対する国や北海道の動向などを踏まえ、次期計画検討の方向性を示すとともに、次期計画策定のスケジュールなどについて、令和元年8月28日の建設文教委員会に報告するもの。</p>

<b>■ 提案・報告の主な内容(概要)</b>
<p>1. 策定の経緯 「緑の基本計画」は、市町村が緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像・目標・施策などを定める計画で、帯広市は平成15年に策定(計画期間:平成16年度～令和5年度)。平成31年3月に策定された北海道みどりの基本方針を踏まえるとともに、帯広市総合計画に即し、都市計画マスタープランと適合を図るため、令和元年度に現計画を改定する形で次期計画を策定する。</p> <p>2. 次期計画の基本的な方向性</p> <p>○みどりのまちづくりの課題と次期計画検討の方向性 現計画に基づく取り組みにより、新規の都市公園を一定程度整備し、緑被率も計画策定時から増となるなど、みどり豊かなまちづくりを進めてきた。一方で、限られた予算の中での公園や街路樹などの老朽化への対応や、適切な管理の確保、美しい景観の保持のほか、良好な自然環境を形成するみどりの管理や、みどりが有する多様な機能の活用などが課題となっている。 次期計画は、少子高齢化の進行などによる社会情勢の変化、都市公園等に対する国や北海道の動向、インフラとしてのみどりの様々な課題などを踏まえ、「①公園緑地等の適切な保全」、「②市民と力を合わせたみどりづくり」、「③みどりの多様な活用」の視点をもって検討する。</p> <p>○計画期間 令和2年度から令和21年度までの20年を計画期間とするが、必要に応じて計画期間内に見直しを行う。</p> <p>○みどりの将来像(目指す姿) 帯広市が目指すみどりの20年後の姿を展望のうえ、検討する。</p> <p>○施策体系 次期計画の基本的な方向性をもとにし、市民アンケート結果や市民団体、専門部会等の意見を踏まえ、施策の取り組み内容を検討する。また、施策の進捗状況を測る方法の1つとして「指標」の設定を検討する。</p> <p>○公園緑地等の管理・運営方針 課題となっている越境木や危険木に対する基本的な対応方向を盛り込み、公園緑地や街路樹等の「適正管理計画」として位置づける。また、魅力ある公園緑地づくりや利活用の促進など管理や運営の質的向上に向け、民間活力の活用を図る。</p>

<b>■ 今後のスケジュール</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年8月28日 建設文教委員会へ報告（「緑の基本計画」の策定について）</li> <li>・ 令和元年8～9月 主要施策・計画骨子の検討、市民団体意見聴取</li> <li>・ 令和元年10月 素案策定、原原案策定、原原案諮問</li> <li>・ 令和元年11月 原原案答申、原案策定</li> <li>・ 令和元年11～12月 パブリックコメント実施</li> <li>・ 令和2年1月 パブリックコメント確認、次期計画案策定</li> </ul> <p>※ この間、適宜、所管委員会等で報告を行う</p>

<b>■ 審議結果</b>
同内容で、8月28日建設文教委員会へ報告することで了承された。

<b>■ その他、指摘事項等</b>
特になし